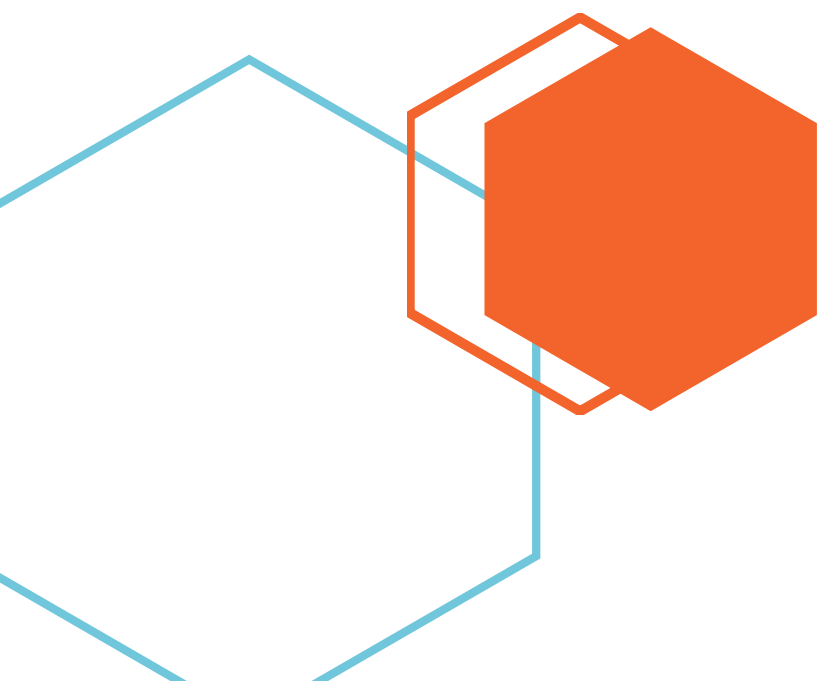




新型コロナウイルスと留学生

2020 年度前期『応用日本語 I』報告書





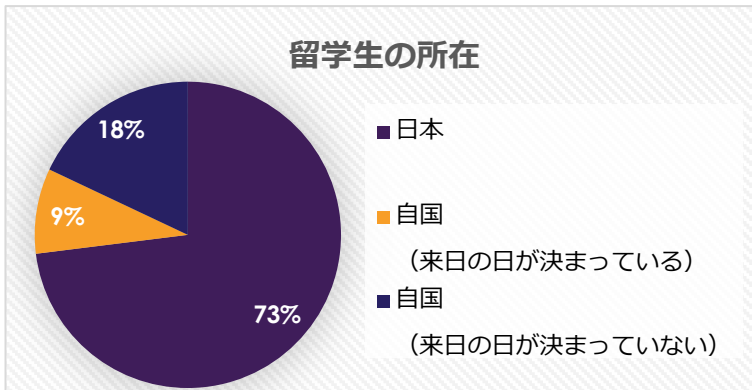
目次

1. 情報をどうやって得たか
2. 留学生の不安・困ったこと
3. 留学生はどのような支援を受けたか
4. 留学生と成長
5. 留学生からの提案

1. 情報をどうやって得たか

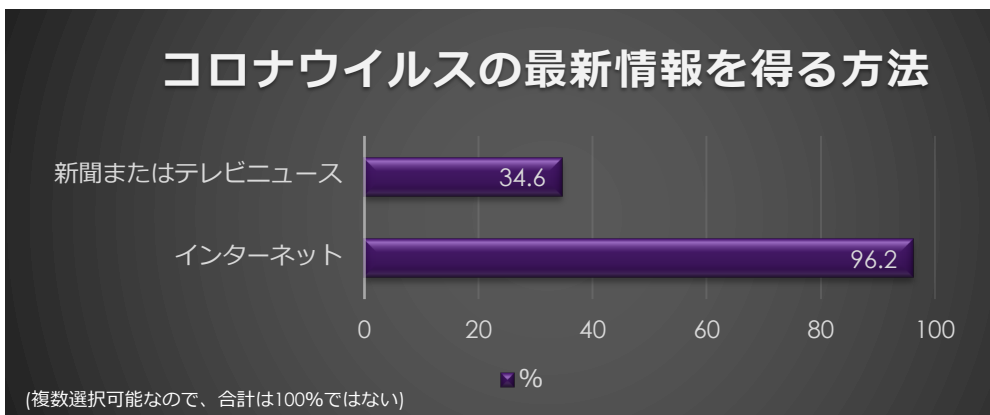
留学生の所在

留学生のうち 73.2%の留学生は日本にいて、26.8%の留学生がまだ自国にいます。それは春休み期間に帰国しましたが、新型コロナウイルスのため、戻れていないからです。まだ自国にいる留学生はほとんどいつ日本に戻るかどうか分からないと答えました。その理由は、各国の対策も日々変わっているからです。



新型コロナウイルスの最新情報を得る方法

96.2%の留学生はインターネットで、26.9%の留学生は新聞またはテレビニュースで新型コロナウイルスの情報を調べます。インターネットを選んだ理由はほとんど「便利、快速、国際性」でした。一方、新聞またはテレビニュースを選んだ理由は「虚偽報道がない」でした。日本のテレビニュースや新聞はほとんど日本語なので、留学生は理解しにくいかもしれません。だから、一般的には留学生はインターネットを使っています。

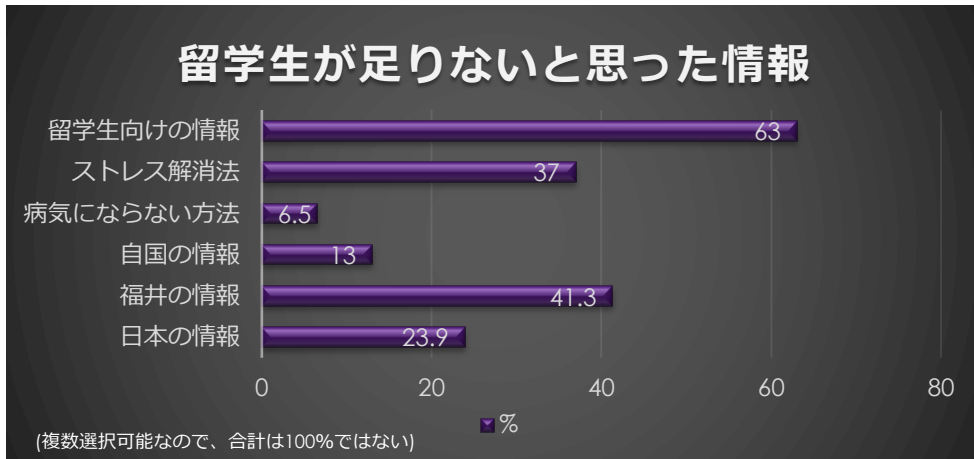


毎日新型コロナウイルス感染症に関する報道が続いています。インターネットでも新聞でも、新型コロナウイルス感染症に関するニュースを報道する多くのメディアがあります。日本人だけでなく留学生もこのウイルスの影響を受けています。しかし、留学生は新型コロナウイルス感染症に関する情報が少ないので、それをもっと詳しく知りたいです。新型コロナウイルス感染症について情報を得るために、福井大学の留学生にインターネットを通してアンケート調査を行いました。アンケートは6月15日から28日までの二週間52人の留学生から回答してもらいました。



新型コロナウイルスの最新情報を得る方法

グラフの示すように63%の留学生は「留学生向けの情報」が足りない情報だと思えます。次には、「福井の情報」は41.3%の留学生は足りないと思えます。そして、「ストレス解消法」と「日本の情報」は37%、23.9%の留学生が足りないと思った情報です。さらに、「病気になる方法」と「自国の情報」は6.5%、13%の留学生が足りないと思った情報です。



アンケートからは留学生が足りないと思った情報として「留学生向けの情報」が一番多かったことがわかります。そこで、なぜこの情報を選ぶのかを知るためにインタビューを行いました。日本にいない3人の留学生、日本にいる4人の留学生に7月上旬にインタビューをしました。日本にいる4人は中国人やベトナム人やマレーシア人です。

新型コロナウイルス感染症に関するインタビューの質問は「留学生向けの情報が一番足りないと思うのはなぜですか？」です。その結果は、以下のようでした。

1. 日本にいない留学生

日本にいない3人の留学生も「留学生向けの情報」が足りない情報は日本のビザや入国制限についてとインタビューの時に答えました。現在、新型コロナウイルスの感染拡大で入国制限が広がる中、留学生は来日できない状態です。今まで日本政府がビザと入国制限に関する情報についてまだ何も報告していないので、いつ日本に来られるか不安があります。だから、それに関する情報が足りないと思えました。

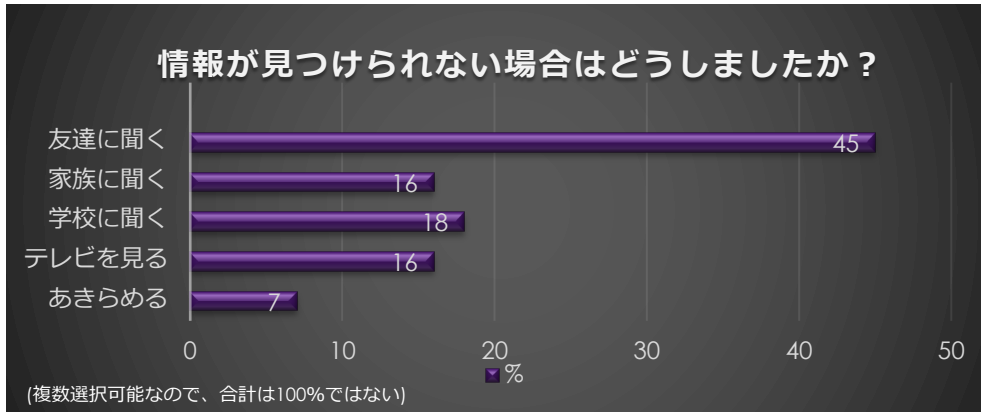
2. 日本にいる留学生

日本にいる4人の留学生も「留学生向けの情報」が足りない情報は留学生への支援についてとインタビューの時に答えました。今の留学生は、財政や勉強などで困っていますが、大学からの支援を受けておらず、どこでどのような支援がされているのかも分かりません。

それに、新型コロナウイルスに感染したらどんな行動すべきか、どこで治療を受けられるか？それらの情報に関して足りないと思えました。例えば、福井市の中にはただ病院に行けばいいだろうか分からないです。もし大学からこの情報があれば助かるだと思えます。

情報が見つけれない場合はどうしましたか？

「情報が見つけれない場合はどうしましたか？」という問題に、45%の留学生は「友達に聞く」と答えた。次には、18%の留学生は「学校に聞く」が足りないと答えました。さらに、「家族に聞く」と「テレビを見る」も 16%の留学生が答えました。あきらめる留学生が 7%います。



情報を調べる難易度

「新型コロナウイルスの症状」、「日本の新型コロナウイルスの状況」、「日本の新型コロナウイルスへの対応」、「自国の状況」、「日本からの支援金」、この五つの種類の情報について、調べる難易度を 1 から 5 に分け、回答してもらった結果の平均値を表にまとめます。表に示すように、日本の新型コロナウイルスへの対応と日本からの支援金についての情報は留学生にとって調べにくい情報です。この二つの情報はだいたい全部は日本のウェブサイトにある配布情報ですから、留学生は日本のウェブサイトがわからないなら、調べにくいとってしまう可能性があります。反対に、コロナの症状と自国の状況についての情報は英語や自分の母語の情報が多いので、簡単に調べます。総合的に考えてみると、全体の情報を調べる難易度の平均値は 2.14 です。

情報を調べる難易度（1は簡単 5は困難）	平均値
1. コロナの症状についての情報を調べる難易度	1.69
2. 日本の新型コロナウイルスの状況についての情報を調べる難易度	2.21
3. 日本の新型コロナウイルスへの対応についての情報を調べる難易度	2.61
4. 自国の状況についての情報を調べる難易度	1.59
5. 日本からの支援についての情報を調べる難易度	2.59
全体の平均値	2.14

まとめ

アンケートとインタビューから、留学生は新型コロナウイルス感染症の現在の状況の情報に関する詳細情報が必要であると言えます。多くの留学生は新型コロナウイルス感染症を検索するプラットフォームが分かりません。インターネット上でも、何を検索すればよいか分からず、不十分なものもあります。一部の留学生はこの情報に関するアプリを持っているため、これを知っていますが、多くののは検索する場所が分かりません。

また、新型コロナウイルス感染症の現在の状況の情報に関して、アプリで日本語を読むことができる留学生がいますが、日本語を読めない留学生もいます。それに、日本語で調べたらたくさん難しい漢字が出てくるので、英語のサイトか日本語以外のサイトの方が読みやすいです。

(Eishatun Radhiah Binti Che Mohd Razali / Tan Yee Hang)

2. 留学生の不安・困ったこと

はじめに

今年は不安な年になりました。突然のコロナウイルスは様々な人にショックを与えました。皆さんの生活は大幅に変わりました。留学生の中には、バイトをしながら勉強をする、大変な留学生がいます。今はもっと厳しくなったかもしれません。そのため、私たちは留学生の今の生活状況を知らせるために、コロナウイルス事態で留学生が困っていることと悩みについて、調査しました。私たちは今回、インタビューやアンケートで、留学生たちの意見や感想を収集しました。アンケートでは、私たちは全体的に質問し、留学生たちが困っていることや解決方法を把握しました。インタビューでは、私たちは留学生の困っていることについて詳しく聞いて、留学生たちの感想を聞きました。

1. インタビューの結果

私たちはここで留学生にインタビューを行って、新型コロナウイルスによって起きた事態の中でどのように過ごしたか、また不安・困っていることがあるかについて探りました。インタビューをしたのは、福井に住んでいる留学生 6 人です。その中に、中国人が 4 人、インドネシア人が 1 人、ベトナム人が 1 人います。インタビューの内容は 4 つあります。まずコロナウイルス感染症が拡大する時、自分がどのようなエピソードを持ったかについて聞きました。そして帰国する予定の有無とそれに伴う不安・困っていることを聞きました。次はコロナウイルス事態の間に友達との連絡に関して困っていることについて聞いてみました。最後はコロナウイルス感染症の状況が進学・就活にどのように影響を与えるかを聞いてみました。2020 年 6 月 12 日から 19 日までの間にインタビューを行いました。

① 留学生のコロナウイルスに関するエピソード

すべての留学生は公共交通機関の利用や買い物、友達との出会い、オンラインクラス授業などの体験について話しました。留学生の回答の結果から**マスクやアルコールなどの日常商品の売り切れとオンライン授業の不便**に関して困っているのが分かります。

具体的な回答として 2 個を載せます。

* コロナウイルスが怖いので、福井での感染が拡大する時、ずっと自転車で外出しました。買い物の頻度を変えて、いつも米とラーメンを買いだめしました。また、人と出会う時、マスクを着用しないとイケません。現在、コロナウイルスの影響で授業がオンライン型になりました。しかし、授業での宿題は前より多くなりました。

* コロナウイルス事態以降、公共交通機関をあまり利用していません。買い物をする時、スーパーの入り口で消毒剤を使って手を洗わなければなりません。しかし、マスクは長い間買えません。トイレットペーパーを買えない状況も大体 2 週間続きました。また、オンライン授業で学ぶ時、時々映像と音声が悪くなって不便でした。

② 帰国について困っていること

インタビューをした留学生 6 人の中に、帰国するつもりがある人が 3 人で、帰国するつもりがない人が 3 人います。帰国するつもりがない人は特に困っていることがないに対して、帰国するつもりがある人は**コロナウイルス感染症の影響で帰れないことが不安**だと分かれます。

具体的な例として帰国するつもりがある留学生の回答を載せます。

*ももとは 2 月の航空券を買ったが、その時自国の状況は大変だったので、航空券をキャンセルしました。しかし、自国の状況が好転した時、日本のほうが大変になったから、結局帰れませんでした。それに、その時は、長い間マスクや消毒剤を買えなかったので、本当に困っていました。

* コロナウイルスは自分の帰国の予定に大きな影響を与えました。帰国したいが、14 日間自宅待機しなければならないから嫌でした。またその時航空便が少なくなり、値段も高くなりました。どうしたらいいのかわからなくなりました。孤立無援の感じでした。

* コロナウイルスのせいで帰国できませんでした。航空券が高いし、それに途中で飛行機のなかの人々から感染する可能性も高いから帰国するのは危なかったです。久しぶりに家族と会いたいですが、今は我慢しないとはいけません。

③ 進学・就活について困っていること

留学生 6 人の中に、進学の希望がある人が 3 人で、就活の希望がある人が 3 人います。回答の結果から次の共通点を取りました。進学の希望がある人は、コロナウイルス感染症のせいで**試験が来年に延長することで試験が難しくなる可能性があるから不安**だと答えました。それに対して、就活の希望がある人は**コロナウイルスの影響で不況になって、失業する人が多くなって、人材の競争が厳しくなるから不安**だと答えました。

具体的な回答として、進学の希望がある留学生の回答を 1 つと就職活動の希望がある留学生の回答を 1 つ載せます。

* 大学を卒業してから、進学したいです。将来先生になりたいので、学歴が大切だと思います。しかし、今年日本の大学院には進学するつもり留学生がコロナの影響で来年に試験を受けることになってしまうので、来年の大学院の入学が難しくなるかもしれません。だから入学試験に合格できるようにいろいろ勉強しないとはいけません。

* 今就活の準備をしています。将来働きたい会社はまだ決めていませんが、できるだけいろいろな情報を調べています。しかし、コロナウイルスの影響で不景気になってしまい、労働者の失業率が高くなるかもしれません。入社競争がこれから厳しくなるのではないかと不安です。



④ 友達について困っていること

留学生 6 人の中で、4 人が今回の事態があっても寂しいと感じたことがないと答えました。彼らは友達との関係について困っていることがないそうです。一方、2 人が**コロナウイルスのせいで友達との出会いが少なくなって、話し合いが不便になっていること**に困っています。

具体的な回答として困っている留学生の回答を 2 つ載せます。

* コロナウイルスのせいで友達と会うチャンスが少なくなって、また会うときに一定の距離を保たなければならないから話し合いはあまりできなかったです。

* 友達と会うチャンスがなくなりました。友達の家は遠いし、公共交通機関も利用できないから。またどうやって友達と連絡できるか分からないので、本当に困っています。

インタビューの結果から分かること

留学生の回答から見ると、どんな面でも不安・困っていることがあります。総合的にまとめると、それは**日常商品の売り切れ・オンライン授業の不便・帰国できないこと・友達との出会いの減少・大学院の入学試験が難しくなる可能性・入社の競争が厳しくなる可能性**です。留学生たちはコロナウイルス感染症のせいで、日常的なことだけでなく、将来的なことにも悩んでいることが分かります。

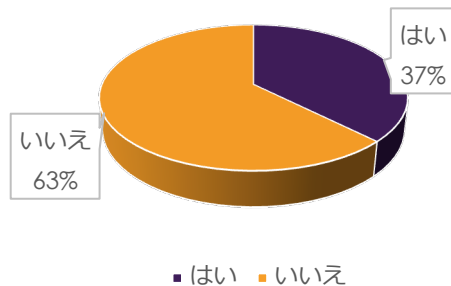
2. アンケート

現在、新型コロナウイルスによって生活に色々な支障が出ています。その中で、日本へ留学に来た留学生はどのように対応しているのか 2020年6月17～7月8日の間に**16人**の留学生にアンケートを行って、調べてみました。アンケートは**日本語だけで質問**をしました。アンケートのトピックは「留学生がアルバイトで困ったこと」、「留学生のストレス解消法」、「留学生が受けた差別・偏見」になります。

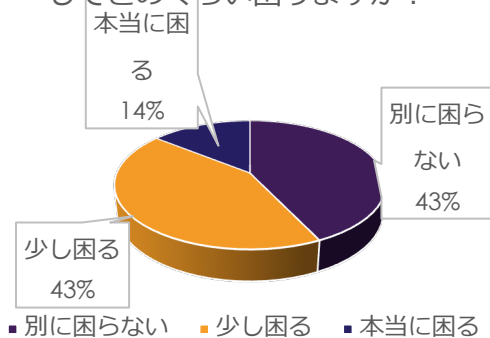
① 留学生がアルバイトで困ったこと

アンケートに答えた人の中で、37.5%の留学生がアルバイトをしていると答えました。アルバイトの内容はコンビニ(3人)、肉屋のホールサービス(1人)、カフェのカウンタ(1人)、レストランの接客(1人)でした。そして、アルバイトをした期間は1ヶ月～3ヶ月(3人)、3ヶ月～6ヶ月(2人)、1ヶ月未満(1人)のような結果になりました。次に、コロナウイルス事態以降、アルバイトがなくなったり、減ったりしたかの質問には、いいえ(56.3%)、はい(43.8%)という結果になりました。

アルバイトをしていますか。



アルバイトがなくなったり、減ったりしてどのくらい困りますか？



そして、アルバイトをしている人の中で、アルバイトがなくなったり、減ったりして困ったことについては、別に困らない(42.9%)、少し困る(42.9%)、本当に困る(14.3%)という結果になりました。次に、アルバイトがなくなったり、減ったりして不足なお金の補い方については、両親から支援してもらう(88.9%)、支出を最小限にする(55.6%)、友達から借りる(22.2%)の割合でした。(複数回答可)

簡単なまとめ

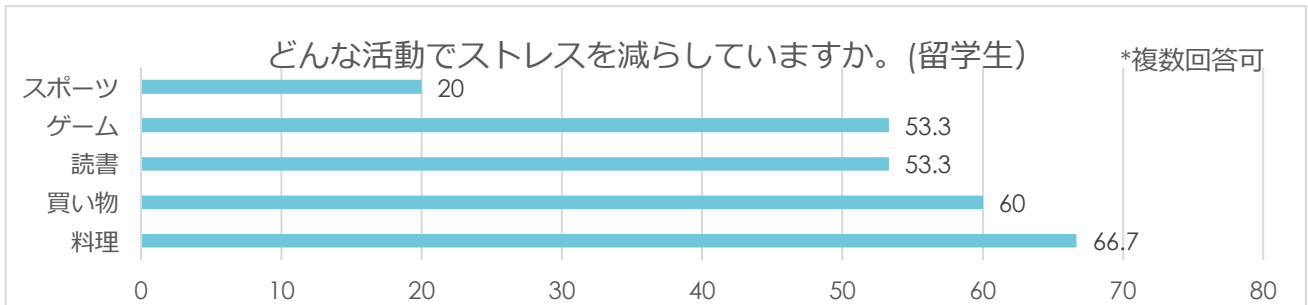
アルバイトをしている人の中で、コンビニでアルバイトをしている人が一番多かったです。そして、アルバイトがなくなったり、減ったりして困っていない割合より困っている割合が多いです。また、ほとんどの留学生は不足したお金を両親から支援してもらっていました。



② 留学生のストレス解消法

「留学生のストレス解消法」に答えた人の中で、コロナウイルスのせいでストレスを感じていると答えた人は87.5%で、外に出られない(86.7%)、友達と出会えない(60%)、学校に行けない(40%)、コロナウイルスにかかるのではないかと怖い(40%)、その他(6.7%)のことからストレスを感じていると答えました。(複数回答可)

また、93.8%の留学生がストレス解消のための活動をしていると答えました。

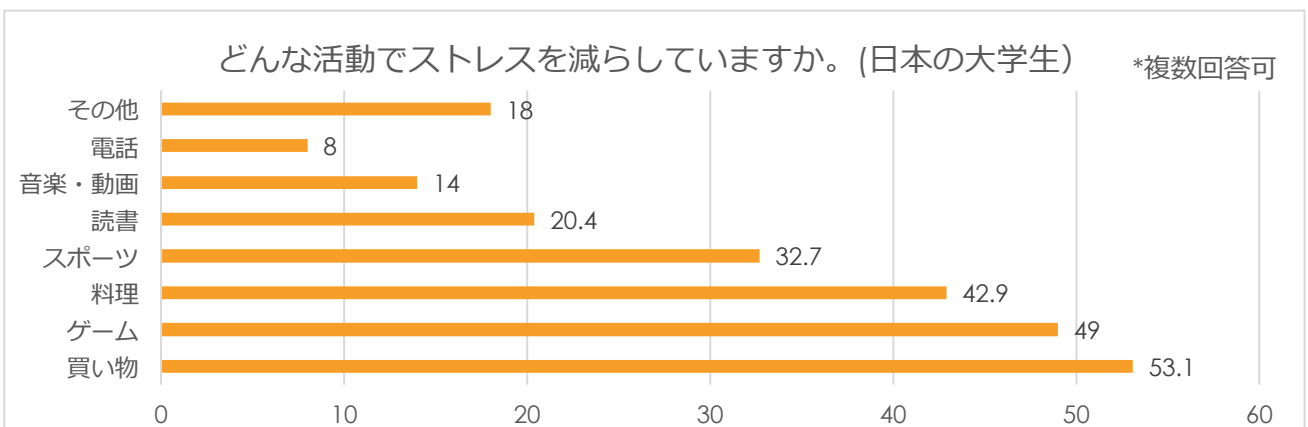


そして、ストレスを感じている人は料理(66.7%)、買い物(60%)、読書(53.3%)、ゲーム(53.3%)、スポーツ(20%)の割合でストレスを解消していると答えました。

ところで、私たちは留学生と日本人とのストレス解消法に何か違いはないのかと考えて日本の大学生にもアンケートをしました。アンケートに回答した日本の大学生は50人です。

コロナウイルスのせいでストレスを感じていると答えた人は96%で、友達と会えない(43.8%)、外に出られない(25%)、コロナウイルスにかかるのではないかと怖い(10.4%)、学校に行けない(10.4%)、その他(10.5%)のことからストレスを感じていると答えました。(複数回答可)

また、98%の日本の大学生がストレス解消のための活動をしていると答えました。



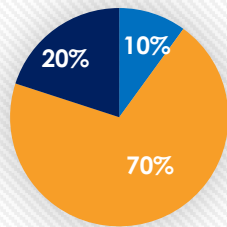
そして、ストレス解消の方法は買い物(53.1%)、ゲーム(49%)、料理(42.9%)、スポーツ(32.7%)、読書(20.4%)、音楽・動画(14%)、電話(8%)、その他(18%)をしていると回答しました。

簡単なまとめ

留学生と日本の大学生両方、コロナウイルスのせいでストレスを受けてる人が多かったです。そして、両方、ストレス解消のための活動をしている割合が高かったです。また、留学生はストレス解消の活動のうち料理の割合が一番高く、日本の大学生は買い物が一番多かったです。

③ 留学生が受けた差別・偏見

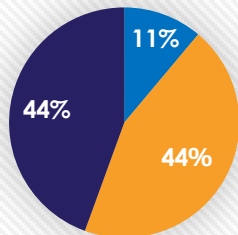
「コロナウイルス以前」どのような差別・偏見を受けたと感じましたか。



■ 身体的な差別・偏見 ■ 精神的な差別・偏見 ■ 両方

コロナウイルス事態以前には差別や偏見を受けたと感じた留学生は、全く感じていない(31.3%)、あまり感じていない(37.5%)、時々感じている(31.3%)、いつも感じている(0%)という結果でした。そして、差別・偏見を感じた人は精神的な差別・偏見(70%)、身体的な差別・偏見(10%)、両方(20%)という結果でした。差別・偏見を受けた場所はインターネット(50%)、交通機関(40%)、学校(10%)、寮・会館(10%)という割合でした。(複数回答可)

「コロナウイルス以降」どのような差別・偏見を受けたと感じましたか。



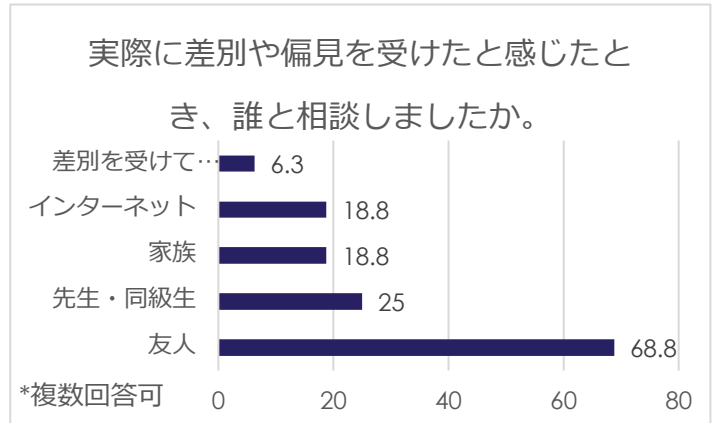
■ 身体的な差別・偏見 ■ 精神的な差別・偏見 ■ 両方

コロナウイルス事態以降に差別・偏見を受けたと感じたことがある留学生は、コロナウイルス事態以前とは違って、全く感じていない(25%)、あまり感じていない(18.8%)、時々感じている(56.2%)、いつも感じている(0%)という結果でした。そして、差別・偏見を受けた人は精神的な差別・偏見(44.4%)、身体的な差別・偏見(11.2%)、両方(44.4%)という結果でした。その後、差別・偏見を受けた場所はインターネット(66.7%)、交通機関(22.2%)、学校(11.1%)、寮・会館(11.1%)という割合でした。(複数回答可)



差別・偏見を受けたときの対応策については、無視する（81.3%）、その場を離れる（31.3%）、受けたことがない（18.8%）という割合でした。（複数回答可）

そして、差別・偏見を受けたとき、誰と相談するのは、友達（68.8%）、先生・同級生（25%）、家族（18.8%）、インターネット（18.8%）、差別を受けていない（6.3%）という割合でした。



簡単なまとめ

コロナウイルス事態以降に差別・偏見を時々感じている割合が増加しました。そして、差別・偏見を受けたときの対応策として無視する割合が一番多かったです。また、差別・偏見を受けたとき友達と相談する割合が一番多かったです。

アンケートの結果からわかること

私たちは今回のアンケートの結果を分析してみて、いろいろなことが分かりました。

まず、アルバイトがなくなったり、減ったりして困っている割合が困っていない割合より多いことが分かりました。そして、留学生の大部分は、アルバイトがなくなったり、減ったりして不足なお金を両親から支援してもらうことも分かりました。

次に、新型コロナウイルス事態で、留学生は外に出られないことに一番困っていて、それに反して日本の大学生は友達と出会えないことに一番困っていることが分かりました。そして、ほとんどの留学生と日本の大学生はストレス解消のための活動をしていて、留学生の料理と読書の割合が日本の大学生より多いことが分かりました。

コロナウイルス事態以前には「差別・偏見を時々感じている」の割合が 31.3% だったのですが、コロナウイルス事態以降には 56.2% で、約 25% 程度増えました。これを見て、コロナウイルス事態以降、外国人への差別・偏見が増加したことが分かります。また、コロナウイルス事態以前には「精神的な差別・偏見」の割合が 70% だったのですが、コロナウイルス以降には「精神的な差別・偏見」の割合が 44% で減って、逆に「両方」の割合が増加しました。そして、差別・偏見を受ける場所はインターネットの割合が一番多いことから、インターネットの差別・偏見が多いことが分かります。そして、差別・偏見を受けたときには主に友達と相談することも分かりました。



まとめ

インタビューの結果から見ると、日常生活、帰国や来日、友だち、進学と就活について、困っている留学生がいることがわかります。特に、マスク、アルコールなどの日常商品の売り切れに悩んでいる留学生が多いです。マスクをかけないと、人が多い所に行くとき、コロナウイルスを感染させる可能性があります。この不安な気持ちが続くと、ストレスが溜まるに違いありません。それでも、留学生たちは努力しました。ずっと留学生を支援する人の助けによって、多くの留学生は自分で自分の生活を整えることができました。アンケートの結果から見ると、留学生が外に出られないことに悩んでいるけど、様々な方法でストレスを解消しています。留学生がコロナウイルスの時間に読書や料理の割合は日本の学生より多いです。ですが、アンケートの結果によるとコロナウイルス事態以降、外国人に対する偏見や差別が増えていることがわかります。悪意を含むコメントが個人情報の不透明なウェブサイトにも見えます。現実にも発生しています。例えば、アメリカに留学する中国の留学生は新型コロナウイルスを防ぐためにマスクをかけるから、病人と言われていじめられたことがあります。これは留学生の精神健康を破壊するほかならないです。このように問題の中に、ストレス解消など、解決方法があることがありますが、外国人に対する偏見が多くなり、航空券が高いなど、個人的な力で解決しにくいことがあります。ですので、より多い支援が必要です。例えば、各方はメディアを通じてデマを明らかにします。すべての外国人がウイルスを携帯しているわけではありません。このことによって、留学生が一人ではないと感じさせます。こうすれば、留学生が安心して、学業に集中できます。

3. 留学生はどのような支援を受けたか？

はじめに

今年の6月に福井大学在籍の留学生を対象にするアンケート調査が実施されて、留学生26人から回答を得ました。今回の調査に参加した最も多かったのは中国国籍の方(53%)で、マレーシア(3人)、マカオ(1人)、台湾(2人)、中国香港(2人)、ブラジル(1人)、ベトナム(1人)、アメリカ(1人)、フィリピン(1人)から来た留学生も回答しました。

今回の調査は、福井大学に留学している留学生がどんな支援を得たか、そして今までの得た多種多様な支援についてどう思うかという目的で実施されていました。

まず分かったのは、今まで家族以外から何か支援を得た留学生が9割を超えていた現状です。そのうち、日本政府から支援を得た留学生が圧倒的に多かった(44%)ことが明らかになりました。母国から支援を得た留学生は2位で、37%を占めています。他には福井大学(15%)や民間団体(2%)、バイト先(2%)から支援を得ました。

日本国からの支援について

インターネットで調べた内容

日本文部科学省ホームページより

◇ 留学を続けるための支援

- ✓ 特別定額給付金（国からの給付金）
（住民基本台帳に載っている人であれば、国から10万円の給付金を受け取ることができる。）
- ✓ 「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』
（アルバイト収入が減って困っている学生への給付金）
- ✓ 国民健康保険料の減額や、支払いの免除
（収入が減った人は、国民健康保険料の負担を減らすこと。）
- ✓ 生活に関わるお金の支払いの延期
（電気、ガス、家賃などの生活にかかるお金について、支払いを待ってもらえるように、国からのお願い。）
- ✓ 子育て世帯への臨時特別給付金
（児童手当が給付されている世帯は、給付金が追加で支給される。）



- ◇ 働き続けるための支援
 - ✓ 雇用調整助成金
(アルバイトを休んでいても、お金が給付されるようにする支援)
- ◇ 日本に住み続けるための手続き
 - ✓ 在留資格の申請の期間を延長する
 - ✓ 在留資格の審査結果を受けとる期間をのばす

 - ✓ 在留資格の認定証明書の有効期間をのばす
 - ✓ 帰国が難しい人も日本に住み続けることができる

参考資料：

- ◇ 日本に留学中の外国人学生の皆さんへ <外国人留学生向けの利用可能な制度一覧> , 2020年6月, 文部科学省, <
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1405561_00006.htm> (参照 2020-7-15)

留学生が実際に受けた支援事情

様々な支援制度がありますが、実際に留学生が受けた支援がどのようなものでしょうか？

内訳は以下の通りです。

支援制度	人数	支援制度	人数
特別定額給付金	20	学生支援緊急給付金	1
生活にかかるお金の支払いの延期	0	雇用調整助成金	0
国民健康保険料の減額や、支払いの免除	1	在留資格の申請の期間を延長する	0

(有効回答数：21)

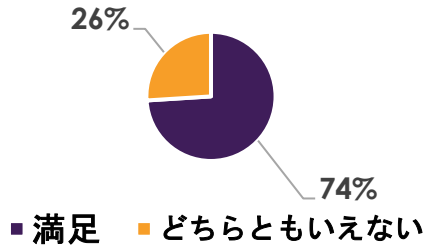
日本国から受けた支援についての満足度

日本国から受けた支援に対して全体的に見ると、「満足」と回答した者が20人(74%)で約7割となっており、「どちらともいえない」と答えた人が7人で26%となります。

- ほぼ全員が選んだ「特別定額給付金」については、留学生達の満足度はどうですか？
「足りる」と回答した者が22(81.5%)で約8割となっており、「足りない」と回答した者が5人です。その中の一人が「少なくとも授業料を支払える金額」と要求しました。

	足りる	足りない
比率	81.5%	18.5%

日本国から受けた支援についての満足度



まとめ

留学生が日本で留学生生活をするために、日本は様々な支援制度を出しました。しかし、調査から一番知られているのは「特別定額給付金」だということを窺えます。他の制度に対して、「受けた」と選んだ人数は僅かしかいません。留学生がそれらの制度を知らなかったのかあるいは他の原因があるのかについて続いて追究する必要があります。それから、留学生が日本から受けた支援への満足度は高いことが分かりました。

福井大学からの支援について

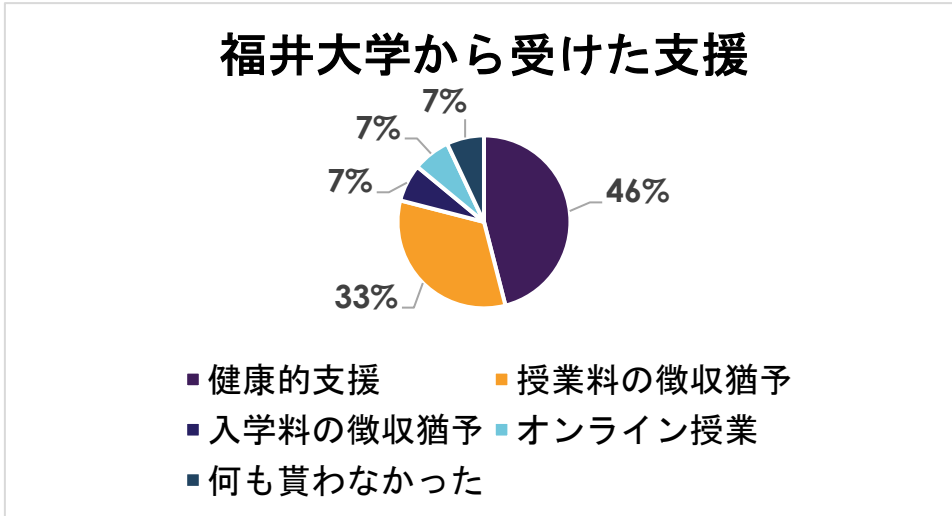
インターネットで調べた内容

(福井大学ホームページより)

- ✓ 授業料の徴収猶予
授業料が6月末に支払ってもいいです。
申し込みが要らなくて、すべての留学生に施行されています。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響によるアルバイト収入減学生への福井大学基金修学等奨学金
バイトがなくてお金で困っている留学生は4つの申請条件を満たしたら申し込みをすることができます。(※非正規留学生は対象外)
- ✓ 福井県グローバル人材基金よりの一時給付金
金額は3万円で、給付は一人につき一回限りです。
福井大学で留学している全部の留学生が対象となります。

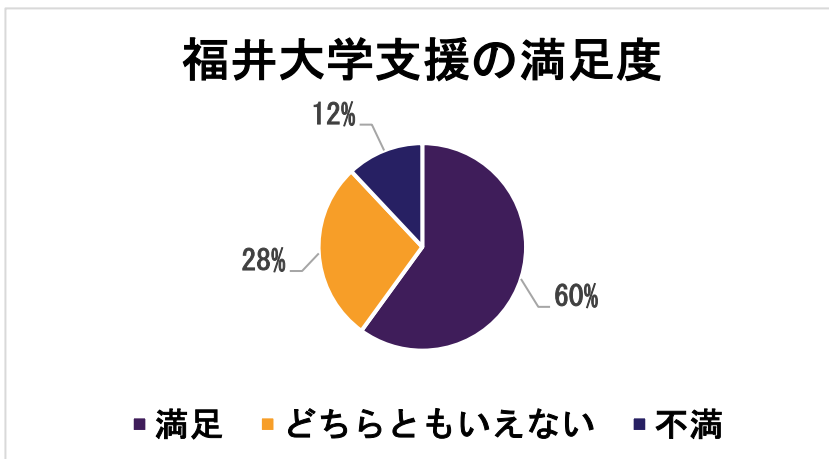
- 申請条件としては、主に生活ができないこと、銀行口座へ振り込むことができること、アルバイト収入が25,000円以上減っていたことなどが書いてあります。留学生は、すべての条件を満たすと1万円から3万円までの給付金がもらえます。

福井大学から受けた支援状況の内訳



「福井大学から得た支援はどのような支援だったか」という質問に答えた留学生のうち、「健康的支援」と回答した留学生が47%で一位を占めています。健康的支援というのは保健センターで心と体の健康管理について相談・問い合わせをできるということです。一方、「授業料の徴収猶予」と答えた留学生は3割以下になりました。「何ももらわなかった」、「オンライン授業」、「入学料の徴収猶予」と答えた人は7%それぞれ同じです。

福井大学から受けた支援の満足度



「福井大学から得た支援に満足しているか」という質問に答えた留学生のうち、満足している留学生が圧倒的に60%で最も多かったですが、「どちらかとも言えない」と答えた留学生が28%で2位を占めています。アンケートの結果から留学生が何かに不満があったことが明らかになりました。また、「ふまん」と答えた留学生もいるため、福井大学支援に何か問題があるといえるでしょう。

➤ 健康相談と一般相談は月曜日から金曜日まで(毎日朝9時から夜5時まで)行います。留学生向けカウンセリングは第2・4火曜日に13:00から15:00まで行います。但し、予約が必要です。相談の予約は電話でもメールでも可能です。

まとめ

調査の結果を見ると、福井大学の提供する支援の中で健康的な支援は圧倒的に多くて一位を占めているということが明らかになりました。それに、3割以上の回答した留学生は授業料の徴収猶予を受けた。福井大学から得た支援に関しては、留学生のだいたいは満足していますが、満足かどうかを疑っている留学生がいれば、不満している留学生もいます。

母国からの支援について

・支援内容

留学生たちは母国からさまざまな支援を得ました。各国からの支援内容に興味を持って、アンケートやインタビューを行いました。

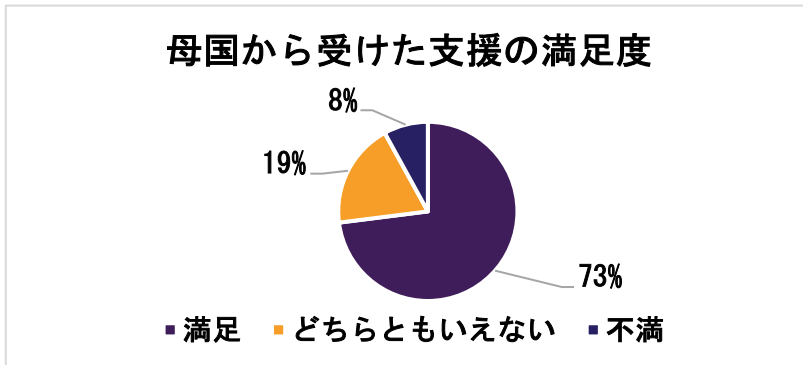
アンケートする前に、インターネットから各国の支援内容の情報を集めました。日本語や英語だけで各国の支援内容についての情報を調べられるので、ある国の支援内容を見つけられませんでした。

地域	インターネットから調べた	アンケート結果	インタビュー結果
ベトナム	・情報の透明性：報告されたケースをオンラインで掲示	・人数：1人 ・支援内容：健康的な支援（マスク、アルコール消毒液とか）	・健康的な留学生：布マスクを10枚 ・感染した留学生：3万円の補助金とマスク ・帰国の航空便を登録できる
中国	・在日本中国大使館：健康バッグ（マスク、除菌シート、連花清瘟カプセル（漢方薬）、感染症予防ハンドブック）	・人数：13人 ・支援内容：健康バッグ（13人）100% 心理的な支援（2人）15% 健康状況の確認（6人）46%	・健康バッグ：マスク*20/N95マスク*2/除菌シート*2/連花清瘟カプセル（漢方薬）*2、感染症予防ハンドブック*1 ・大学：毎日健康状況の確認/留学生心理相談
マカオ特別行政区	・電子商品券4万円 ・現金：永住性居民約13.9万円/非永住性居民約8.4万円	・人数：1人 ・支援内容：マスク お金	インタビューなし
香港特別行政区	・1万香港ドルの支給	・人数：2人 ・支援を貰った1人 支援を貰っていない1人	・支給金を申し込んだが、まだもらっていない
台湾	・「振興三倍券」1,000台湾元（約3,600円）を負担し、3,000台湾元（約1万円）の消費ができる	・人数：2人 ・支援を貰った1人 支援を貰っていない1人	・支援を貰った学生が家族からの支援である ・「振興三倍券」は台湾に戻ると使える
ブラジル	日本語や英語の記事を見つけなかった	・人数：1人 ・支援内容：健康状況の確認/心理相談	インタビューなし
マレーシア	日本語や英語の記事を見つけなかった	・人数：3人 ・支援を貰った（1）33.3% 支援を貰っていない（2）66.7%	インタビューした友達は「確かに支援を得なかった」と答える
アメリカ	・アンケート人数：1人	・アンケート結果：支援を貰っていない	
韓国	・アンケート人数：1人	・アンケート結果：支援を貰っていない	
トルクメニスタン	・アンケート人数：1人	・アンケート結果：支援を貰っていない	
フィリピン	・アンケート人数：1人	・アンケート結果：支援を貰っていない	

また、アンケートできる留学生の人数も少ないから、調べたデータは福井に留学している留学生の状況を表しているだけかもしれません。
福井にいる 27 名の留学生たちの母国からの支援内容を調べた結果は以下通りです。

・満足度

支援への満足度も支援内容によって違います。73%の留学生が「満足」であり、19%の留学生が「どちらともいえない」であり、そして 8%の留学生が「不満」です。



・まとめ

全体的に見ると、各国の留学生たちが受けた支援内容はそれぞれです。健康的な支援（マスク、アルコール消毒液とか）を受けた人が一番多いです。そして、健康状況の確認を受けた人数は二位を占めています。それから、母国から心理的な支援や金銭的な支援を受けた留学生もいます。

満足度から見れば、七割の留学生達が母国からの支援を「満足」だと考えていて、二割の留学生が「どちらともいえない」と考えています。満足度が比較的に高いと思います。

留学生の求めたいこと

留学生支援を改善するため、一緒に留学生の声を聞いてみましょう！



もっと多くの日本語で話すチャンスがほしいです。

日本政府からの支援が遅いと思います。あの二枚のマスクはコロナの状況が好転した後で届きました。流行病に対して効率を高めなければいけないと思います。

誰でも学生支援緊急給付金を受け取れるようにしてほしいです。



在留期間更新手続きが面倒くさいので、もっと簡潔にしてほしいです。



アンケートに答えた27人の留学生達が求めたいことについて調べました。それらの答えをまとめて、ここで代表的な四つの答えを取り上げます。

それらのコメントから見ると、留学生支援を行う際には、給付金対象のカバー率を高め、手続きを簡潔化にして、留学生に日本語を話す機会を提供することなどを再検討する必要があります。

おわりに

留学生支援についてのアンケート調査の結果は以下の通りです。

各提供機関が出した支援を全体的に見ると、日本国からの支援への満足度は一番高く、「満足」を選ぶ人は約74%を占めます。それから、母国からの支援の満足を選んだ人は73%です。福井大学からの支援に対しての満足を選んだ人は約60%です。これら



のデータから、留学生が受けた支援は大体満足だと考えられます。各政策に対しての満足度を続いて探求する必要があります。

新型コロナウイルス感染症は、予想もなかった巨大な影響を社会とわたしたちの日常に与えています。新型コロナウイルスとの戦いは、私たちにとっては大きな挑戦です。しかし、これは不足を反省するチャンスです。今回の調査により、新型コロナウイルスのような突発的な緊急事態に対して、留学生を支援する各機関・団体が多少の不足を伺えます。もっとよい留学生生活を送るために、この報告を踏まえて不足を改善する必要があります。それから、今回の危機の中で個人をとして不足の部分はどうやって改善すべきなのか、留学生としてどうやって社会や国のために自分のできる限りのことをするのかについて考えるのではないのでしょうか。これらは私たち今後考えるべき課題だと思います。



4. 留学生と成長

概要

コロナは留学生たちに困ったことをもたらしましたが、ネガティブなことばかりではなく、留学生たちに成長ももたらしたと考えています。私たちは6月の中下旬に、留学生の成長について調べるために、留学生6人にインタビューしました。表1にもあるように、この6名の協力者は中国人3人、ブラジル人1人、ベトナム人1人とドイツ人1人です。留学期間は約一年です。インタビューは全部オンライン電話とチャットアプリで行いました。これから、インタビューの結果を見ましょう。

	国籍	留学期間	インタビュー実施時期	インタビューー
A	中国	約一年	2020年6月18日	丁揚
B	中国	約一年	2020年6月21日	丁揚
C	ベトナム	約一年	2020年6月18日	丁揚
D	ブラジル	約一年	2020年6月13日	ルイス
E	中国	約一年	2020年6月17日	ルイス
F	ドイツ	約一年	2020年6月12日	ルイス

表1 インタビューの協力者およびインタビュー実施時期など

留学生の成長実態

①自粛の期間に、つらかったり悲しんだりする経験をしましたか？また、面白かったり喜んだりする経験もしましたか？どうでしたか？

悲しい経験の中に、帰国できなくて、一人で寂しくて日本にいたという経験が多いです。ほかには、物資が足りないことや見込みが外れたことで、つらい経験をした人もいます。しかし、皆さんはつらくて悲しいことを経験しながら、面白くて楽しいことも経験しました。支援を受けたとか、バイトに影響がないとか、落ち着いて考えるようになったとか、料理の楽しみとか、皆さんはそれぞれの面白くて楽しい経験があります。特にないと答えた人は一人だけです。

②自粛待機で何か新しいことを学びましたか？あるいは、何か上達できましたか？

自粛待機で時間の余裕があるので、皆さんはいろいろな興味を広げました。言葉を勉強することや、読書することと絵を描くことなど、それぞれの興味があることを学びました。また、コロナのため、健康を守る手段やネガティブな感情の管理方法を身につけた人もいます。皆さんはいつもネガティブな感情に耽っていたのではなく、いろいろなことを試して興味を広げて、才能の成長をもらったと分かりました。

③自粛待機の期間に自分の生活習慣に何かいい変化がありましたか？

インタビューの結果によると、飲食や衛生に注意を払うとか部屋で運動するとか、健康にいい習慣をつけた人は半分います。生活習慣は一番健康に悪影響を及ぼすので、これらの生活習慣を身につけるのは賢明だと考える。読書の習慣をつけたと答えた人は一人います。また特にないと答えた人は二人います。

④自分の人間関係にどのような変化がありましたか？それについてどう思いますか？

コロナのため、家族と友達と会えなくて、寂しくなった人は多いです。しかし、その中に、自粛がきっかけで、ルームメイトと仲良くなった人が二人います。友達から近況を聞いてもらって、苦境の中の友達の大切さを知った人もいます。ほかには別に変化がないと答えた人が二人います。

⑤パンデミックが終わったら、将来のことや期待や希望などについてはどう思っていますか？それを達成するために、どんな努力をしていますか？

この時期に皆さんはつらくて悲しい経験をしましたが、まだ希望や期待を持っています。半分以上の人はこれから順調に卒業して、進学や就職したいです。また自分の経験から、両親や友達を大切にして積極的に生活しようと思うようになった人や、医者のように自分の能力を生かして社会に貢献しようと思う人もいます。家族や社会へのより強い責任感が養われたと考えられます。インタビューをする時、いろいろなすばらしい答えがあったので、ここでいくつかの答えを載せます。

・今年は災害が多すぎるので、命の大切さを感じました。正直に言うと、長期の目標は無事に生きることです。短期の目標なら、進学でも就職でも、コロナのせいで延期になってしまいましたが、順調に行くように祈っています。少なくとも今年のN2試験に合格して、この一年間の日本語の学習の成果をあげたいです。そのために、授業がない時、私はよく日本語の授業の動画を見たり、メモをとったり、単語を覚えたりしています。

・このパンデミックが二度と起こらないでほしいです。でも、このパンデミックが私の将来に影響を与えないと思います。将来は翻訳者になりたいので、毎日日本語を勉強しています。

・外に出られない間は、元の生活に戻り、心を落ち着かせ、何が自分の欲しいものかと考えてみました。将来は、どんな状況でも、きちんと過ごして生活を愛したいです。常に両親や友達など大切な人と連絡を取り合い、ポジティブな態度をもって生活しようと考えています。

・今回、私は大学で学んだ知識で社会にどうやって貢献すればいいのかと考えていました。医学の研究者はウイルスのワクチンの開発をし、工学部の研究者は医療機器の製造や病院の建築などに協力しています。私たち、文系の方は、何ができますか？色々考えた結果、私は中国語教師になろうと決意しました。世の中に自国の文化を伝えたいと思います。どうやって中国語を教えたらいいかわからなかったので、福井大学で中国語概論という授業を受けていて、そこで中国語について簡単に理解できました。

インタビューから見たこと

人はよく望ましいことではなく、当時の自身にとって堪えられないつらい経験をしてこそ、成長できます。しかし、人を成長させるのは、そのつらい経験というより、むしろその経験と戦って生き続ける過程です。コロナの時期の経験から、留学生は3つの成長ができたと考えます。

まず、留学生は自分を受け入れるようになりました。協力者の中に、いつも落ち込んでいる人はいません。それはなぜかという、つらい経験をする時、彼らは自分の極めてネガティブな感情を味わっていましたが、自分の悲しみなどのネガティブな感情が日々経験する感情と知って受け入れるようになりましたから。協力者が自発的にいろいろなことを試して精神をほかのことに集中したことから分かります。

次に、留学生は独立になりながら、他人との関係を大切にするようになりました。コロナの時期に健康を守ることができたか、ネガティブな感情の管理方法を身につけたか、これらのことを通して、彼らは自分が思ったより強いと感じて、自分を信頼していいと思うようになりました。自己評価をあげるのは、これからの人生の困難を乗り越える力になります。同時に、コロナの時期にルームメイトと仲良くする人にせよ、友達との連絡が少なくなる人にせよ、ほとんどの留学生は寂しさを感じました。だからこそ、彼らは感謝の心をもって、他人との関係の大切さが分かりました。

最後に、留学生は自分をより深くかえりみて、より強い責任感を持つようになりました。コロナのため、留学生は部屋に閉じ込められましたが、お暇ももらいました。このきっかけに、彼らはかえりみて本当の自分を探しました。かえりみることを通して、人は自分の責任を意識し始めます。インタビューの協力者には、自分の将来について期待や目標がない人はいませんでした。全員自分の人生、また家族、あるいは社会へのより強い責任感を身につけたと分かりました。自分の目標を達成するために、皆さんは努力しています。

今回は留学生6人しかインタビューしなかったので、すべての留学生はこの3つの成長ができたとは言えません。また、今はコロナの一番つらい時期から、3カ月しかたっていません、この経験から自分が成長できたかどうか、どのような成長ができたかとまだ分からない人もいますが、今回のインタビューの結果を見ると、私たちは希望を見出しました。このパンデミックが終わったら、皆さんはより良い人になれると信じています。

(丁揚、ルイス)

5. 留学生からの提案

○ ANASTASIIA FEDOTOVA

自分の経験のことなんだけど、私は外出自粛に疲れてとても寂しかった。友達と会えないし、日本人学生との交流も全然なくて日本語の会話能力が上げられないという悩みに陥って来た。せっかく日本に来たのに旅行やらなににもできない。たぶん大学は神経的な集団カウンセリングというサービスを提供すればいいだろう。ということで、留学生をグループに分けて、グループごとに健康センターの方をつけて zoom ミーティングなどで悩みや話したいことについての話し合いが行われるといいのではないかな。健康センターの方は留学生の悩みを聞いてアドバイスでもしてくれる。なぜ集団カウンセリングの方がいいかというと、健康センターの方が留学生ではなくて、自分の悩みはわかってもらえないという感じがするからだ。他の留学生が確か自分と同じような経験があるからこそ、私の気持ちがわかってくれるのではないかなと思う。

○ DING YANG

物資の不足は一時的な問題ですが、心理的問題は人を長く影響するので、心理的な支援のほうが重要だと思います。これについて、うちの大学の支援方法がいいと思います。2月19日から、先生は毎日アンケートをウィーチャットグループで送ります。アンケートの中に、所在地、健康状態、「最近は所在地から離れるか」、「もし離れれば、新しい所在地、時間と原因を教えてください」、「学習や経済など問題があれば、教えてください」などの質問があります。それで、先生は学生たちの実態を把握できます。しかし、福井大学の先生に連絡したければ、メールしか使わないです。メールはフォーマルなイメージがあるので、やはりアンケートを行えば、学生は比較的に楽な気分で先生と交流できると思います。もし将来パンデミックがまたあったら、このようなアンケートは先生と学生の間架け橋になると思います。

○ EISHATUN RADHIAH BINTI CHE MOHD RAZALI

留学を応援して下さった方々に本当に感謝いたします。新型コロナウイルスの原因で、留学生はアルバイトを働くことができないので、生活が大変になります。もし財政支援的のサポートがもらったらみんな喜んでと思います。

それに、ある留学生が友達がいなく、家族も遠いし一人で日本に住んでいて寂しくなることもあります。人間として生きてはいけないものだから、せめて悩みことがシェアできるように安心になります。

○ KIM HYUNGMIN

私が留学生を支援する人たちに提案ことは主に二つあります。



一つ目は、マスクや消毒剤などの衛生用品と生活用品の支援です。「留学生の困ったこと」に書いているように、今年はコロナウイルスのせいで衛生用品の売り切れによって変えない状況もありました。それで、今のように衛生の管理が大切になっている時、このような物品の支援はとても役に立つと思います。

二つ目は、奨学金をもらえる資格の変更です。現在、奨学金を申請するためには日本の居住地が必要です。ですが、コロナウイルスのせいで自国にいる留学生は奨学金を申請することができないのでとても困っています。

○ LIU YONGZEYUAN

コロナウイルスの影響で、留学生たちの生活は各面にも大変になったことです。生活が不便になったし、新型コロナウイルスに関する情報を得ないし、帰国出来ないからストレスが溜まるし、自分の未来を心配します。この厳しい状況の下に、留学生たちは自分で頑張って、きちんと生活しています。当然、各方の支援は留学生に対して、不可欠です。金銭的な支援以外に、精神上的の支援が必要だと思う。おおくの留学生の一年生は当地の友達がいませんから、本当に寂しいです。大学は友達ができる活動を行うなら、この状況を改善できるかもしれません。

○ TORRES PINHO LUIS HENRIQUE

コロナウイルスの事件で様々な事情で酷く困った留学生から見ると、留学生を支援する人たちに提案したいことと言えばやはり、生徒たちの精神的な状態にもっと注意したほうがいいと思う。それは日本人の生徒たちとも確認したらいいと思う。今まで福井大学から、十分な支援を受けることができ嬉しいが、ほかの留学生にとっても十分か十分ではないか確認してみた方がいいがそれには、コミュニケーションが必要だと思う。

○ TAN YEE HANG

インタビューやアンケートの結果によると、留学生はどんなサイトでどんな情報が得ることがよくわからなかった。例えば、今回の新型コロナウイルスのパンデミックがあっても、厚生労働省の公式サイトで新型コロナウイルスに関する最新情報が得ることができることも分からない留学生は60%もいる。提案したいことは、留学生向けの日本の行政機関や組織などのサイトにどんな情報があるかをまとめた冊子またはサイトを作ってもらえば、探したい情報があっても探せないことが少なくなると思う。

○ TIEN THINH HOANG

留学生は今回のコロナウイルス事態下で非常に困っています。特に情報は得方についてです。多くの留学生が得た情報は友達からのものだから、信頼性が高いと思いません。また、インタビューをする時、「コロナウイルス事態下で安心して過ごすためにどうすればいいかわからなかった」という訴えがもらいました。だから、提案として留学生向けの情報サイトが必要ではないかと思いません。このサイトに、マスクや消毒剤がどこで買えるか、自粛期間にどのように健康を守るかというアドバイス、日本および福井県の状況のアップデート、留学生を対象にする支援の情報などを

載せたほうが良いです。また、留学生が読んですぐ分かるように、やさしい日本語と英語で載せたほうが良いと思います。

○ WANG RUXIAO

どうやって留学生達にもっと簡単に速く情報を得させるのであろうか？この問題に対して、私は一つの提案があります。留学生達に日本人が普段に使っているメディアツールを紹介します。留学生達は情報収集に対して受動的な位置に立つと思います。特に日本語を読めない人です。彼らに対して、情報を入手する経路は往々にして友達と母国のメディアです。ですから、どのようなアプリで毎日の感染情報を更新しているのであろうか？どのウェブサイトで福井県政府のお知らせを閲覧できるのであろうか？また、日本語を読めない留学生達に対して、どのメディアを利用したら、もっと簡単に情報を得るのであろうか？それぞれの問題について検討する必要があります。

○ ZHANG XIAOSHUN

留学生を支援する人たちに伝えたいことは以下の通りだ。

まずは留学生の日本語学習についての提案だ。毎週のある時間で、zoom 会議でオンライン交流イベントを行って、話したい人を集めたいと考える。そして、話すことだけでなく、英語のしりとりなどの言語ゲーム等多様な形式で行うと、面白いと思う。その上、SNS・メールなどでイベントの情報を留学生に宣伝する。

コロナウイルスについての情報や記事については、ある留学生が日本語の記事を読みにくい問題があると思う。この問題に対して、英語記事も増やすことややさしい日本語の記事を提供することは役に立つかもしれない。NHK 新聞のような優しい日本語記事ウェブサイト留学生達に勧めてほしい。

最後は、精神的な支援や心理問題相談などのサービスを提供してほしい。